

Rainbow color communication

にじいろ通信

つうしん

一人はみんなのために みんなは一人のために



高千穂 登山



韓国岳 山頂

CONTENTS

- P2 院長挨拶
- P3 研修医紹介
- P4・P5 腎臓内科 上村診療部長に聞く
- P6 地域医療機関より
- P7 トピックス・職員紹介



国分生協病院



院長
あいさつ
Director message



国分生協病院 院長
山下 義仁

新年明けましておめでとうございます。旧年中は皆様に大変お世話になり誠にありがとうございました。

さて、2016 年が始まりました。今年は診療報酬の改定が予定されています。今回の内容は病院医療費を抑制し「都道府県医療費適正化計画」の達成を推進するために急性期病床、特に 7 対 1 病床と療養病床の両方を削減し、その受け皿として地域包括ケア病床や在宅医療へのシフトを強化していく方針のようです。霧島市の人口は約 12 万 7 千人、県下で 2 番目でありながら救命救急センターはありませんし、病院常勤医数は人口 10 万人対比で南九州市に続いて 2 番目に少ない地域です。現在ですら病院の病床数は十分ではない状況です。これからご高齢の方々がさらに増え、多重疾患や認知症への対応がこれまで以上に必要になってきます。この状況をそれぞれの医療機関の特徴を生かして対応できるかと思っています。お互いの垣根をできるだけ低くして連携を強め、ともに支え合って診療報酬の改定を乗り越えていきましょう。

ところで昨年一年間を漢字一文字で表現すればどうなるかが当院の忘年会で話題になり、私には「怒」がすぐに頭に浮かびました。当院の新築移転が第 42 回通常総代会で承認されたうれしいニュースはありましたが、戦後 70 年という節目の年でありながら安全保障関連法案、つまり憲法違反の法案が数にものを言わせて成立したことへの怒りの方が強かったのです。これは沖縄辺野古の米軍基地移設と軌を一にするものです。昨年は医療介護総合法案の可決成立や川内原発再稼働もありました。

日本の立憲主義、民主主義が壊れ始めています。今年は当院の新築移転（2017 年下期予定）を全職員、地域の方々と進めながら、この国の民主主義を守る運動を進めていきたいと思っています。

新年早々重たいお話で失礼致しました。本年もよろしくお願ひ致します。



地域を守る医師を目指します

研修に向けて



仲田 太郎
(なかだ たろう)

1. 出身地

静岡県西伊豆町

2. 現在の仕事内容

5-7月内科、8-9月麻酔科、10月救急、11-12月整形外科を鹿児島生協病院で研修しました。国分生協病院では3月まで内科研修を行います。

3. 大変なこと

11月から当直デビューをしたのですが、想像以上に眠気との闘いであり、これを50代、60代の先生方もこなしていることに驚愕しています。

4. やりがいを感じること

患者さんが日々少しずつ元気になっていく姿をみられることです。

5. 研修の抱負

四か月弱国分生協病院で内科研修をさせていただきます。生まれも育ちも静岡県ですが、安心してください。対話時の鹿児島弁がネイティブレベルだと鹿児島生協病院の長谷院長からお墨付きをもらっております。まだまだ未熟な1年目研修医ですが、研修医という立場に甘えず、責任感を持って内科研修をさせて頂こうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

研修を終えて



別府 宏俊
(べっふ ひろし)

1. 国分での研修内容について教えてください。

総合内科研修という事で8月～11月半ばまで研修させて頂きました。希望があれば何でも経験させてくれたので、様々な科の患者さんを担当させて頂いたり手技についたりして幅広く学ぶことが出来ました。

2. 研修中、大変だったことはありましたか？

上級医の先生と一緒に夜間の診療を担当する「副当直」が始まり何度か夜間に入らせてもらいましたが、冴えてくる目と反比例して階段を昇る足がだんだん重くなってきました。また鹿児島では、1年目研修医が僕を含め11名いたため、一抹の寂しさはありました。

3. 研修中で、印象に残っているエピソードはありますか？

歓迎会で手作りのお好み焼き、たこ焼き、流しそうめんを振る舞ってもらったことが印象に残っています。

4. 研修を終えての感想をお願いします。

3か月半あっという間でした……。ただ終わってみて確かに成長したという実感はあります。国分生協病院は医者的人数が少ない分皆で助け合っていこうという団結心が強かった気がします。他職種間の距離も近く、質問やお願いをしに行きやすかったです。また普段の業務以外にも、学会参加、症例発表、組合員さんの班会への参加など様々な体験をして、とても充実した日々を送らせていただきました。また国分で共に働ける日が来ることを楽しみにしています。



国分生協病院 腎臓内科担当医 上村 寛和 プロフィール

医学部1年生の夏休みに、奄美の離島フィールドに参加しました。離島非奄美に来て医療をして欲しいと熱く言われたことが、「せっかく医学部に研修医時代は、離島診療所を担える医師になることを目標に、色々な勉強3年目は宮崎生協病院で、糖尿病の担当をしました。その後も糖尿病診療方に、透析も診られる医師になってほしいとお願いされたのが、腎臓内科4.5年目念願の離島診療所勤務をしました。この時の経験は、今でも大間奄美中央病院で循環器の担当をし、心カテやペースメーカー挿入をして奄美の後、東京女子医大病院腎センターで腎病理、透析、腎移植を学び、指導医としても、約10年間担当しました。研修指導は、共に学ぶ機会が国分生協病院に勤務して、早いものでもう5年たちました。

対談シリーズ

「地域の期待に応えるために～

緒方：国分生協病院の腎臓内科の医療活動は、どのような内容か教えてください。

上村：腎臓内科としての目標は、透析にならない、腎不全を悪化させない事です。糖尿病性腎症は、腎炎を遙かに上回る透析の原因疾患です。今は糖尿病専門医と一緒に、糖尿病のより良いコントロールを目指して、色々な取り組みを行っています。

腎炎は自覚症状がないことが多く、一般診療や健診での拾い上げがとても重要な課題です。腎生検も当院で行い、腎炎治療に繋がっています。

また、腎症を合併する膠原病も多く、膠原病診療にも力を入れています。鹿児島民医連の腎グループも、日々進歩しているリウマチ・膠原病診療にも力を入れるため、一昨年より腎・膠原病グループと名称を変更して、日々進歩する治療法に遅れないよう努力しています。

緒方：では透析室の方は、どのような医療活動を行っているのでしょうか？

上村：国分生協病院に来たときは、透析患者数50名前後、透析ベッドも26床でした。月水金、火木土の午前透析のみでしたが、年々患者数が増加して、月水金の午後も満床となっています。透析ベッドも31床に増床し、今では90名を超える透析患者数となりました。現在、若手医師にも協力を頂いて、透析室を運営しています。

国分生協病院は、腹膜透析に久保先生が担当であった時代から力を注いできました。今では腹膜透析を25名の方が実施しています。鹿児島CAPDナース会の幹事を当院の森主任がするなど、鹿児島県内でも腹膜透析に関しては力を注いでいる施設であると思います。

また、当院の臨床工学技師は鹿児島生協病院等で研修を積んだ技師が多く、DFPPや血漿交換、吸着療法や、急性期のCHDFに対応が出来ます。私の集中治療病床での経験と合わせ、急性期血液浄化療法も、私たちの重要な任務と考えています。



1985年透析室



2015年透析室

profile

の大変な医療の環境に驚き、それを支える医師をはじめとしたスタッフの頑張りに共感しました。何より住民の方々に、是入ったのだから、誰かに必要とされているところで仕事をしたい」という思いと一致して、民医連で働くことを決めました。強をさせてもらいました。胃カメラや大腸内視鏡、気管支鏡なども勉強しました。

療は私の中心的な仕事の一つです。この時、糖尿病性腎症が悪化して、泣きながらサヨナラをしなければならない患者さんを志したきっかけでした。

切な宝物です。病院に患者さんを紹介するときの苦悩や、家庭医としての喜びなど、色々なことを学びました。その後二年いました。

鹿児島生協病院に勤務しました。鹿児島生協病院では腎臓内科を柱にしつつ、集中治療も中心的に担当していました。研修多く、総合診療を多く学ぶ事が出来ました。

腎臓内科 上村診療部長に聞く〜」

緒方：今後の目標を教えてください。

上村：霧島市は勤務医のかなり少ない地域で、どの病院の医師も大変な状況にあるので、連携を深めて、この地域の医療を守っていきたいです。

合併症を抱えた透析患者を診られる透析施設があまり多くないため、その分野では少しでもお役に立てるよう頑張ります。施設面の限界に今あるので、新築移転で増床されることに、期待しています。急性期を乗り切ったら、地域で頑張っておられる開業の先生方と連携して、霧島地区の透析医療を支えていきたいと思います。

糖尿病性腎症を作らない、IgA腎症から腎不全にさせないなど、透析にさせない診療にも力を入れていきたいと思っています。



午前透析の様子



カンファレンス



上村医師診療



透析・中材師長

緒方ゆかり

地域の医療機関より ～三輪クリニック～



私の三輪クリニックは平成21年9月に国分福島に開業した無床診療所です。秋ようやく7年目を迎えることができました。私は平成4年に長崎大学を卒業し、開業するまでは主に中国四国、九州北部の病院で働いておりました。これまで鹿児島県の病院で働いたこともなく、知り合いもほとんどいない状態での開業でした。

開業するに当たって長崎からこちらに帰ってきたときのことで。地域の医療の状態について何もわからない状況でしたのでとりあえず中核病院に挨拶に行こうと国分生協病院に伺いました。すると当時の吉見院長から気さくに「こちらのことが何もわからない状態でしたら開業までの間しばらくうちで働いてみてはどうですか」と提案していただきました。生協病院との関係はまさにこの一言から始まりました。

それ以来開業後も現在に至るまで生協病院には大変お世話になっております。休診日には生協病院の非常勤医師として勤務させて頂き、また、クリニックでは対応の難しい重症患者さんをみていただいたり、また往診を希望している患者さんを紹介していただいたりとまるで関連病院かのように扱っていただきました。こうしたバックアップのおかげで地縁のなかったこの地に順調に根付くことができました。

今後も国分生協病院とうまく連携をとりながらこの地域の医療を支える力になっていきたいと思っております。



三輪院長と国分生協病院医局



あやめ会

あやめ会は、糖尿病についてともに学ぶ糖尿病患者会です。現在の会員数は20名程度で、年3回（6・11・2月）、医療スタッフによる講演や、院外レクリエーションなどの活動を行っています。

担当スタッフは、医師、看護師、薬剤師、栄養士などで構成されており、毎回、薬剤師による糖尿病治療のお薬について紹介、栄養士による食事についての講演などを企画します。会員さんからは、日ごろ気になっている疑問、素朴な疑問が出され、糖尿病についての学習を深めています。また会員さん同士が互いに情報交換し、糖尿病とともに生活する仲間として交流を深めることができるのが大きな魅力です。

先日の例会では、日帰りバスツアーを企画し、垂水方面へ。車内では、ミニ学習会（糖尿病に関するクイズ、糖尿病検査についてなど）、そして食前には、しっかり血糖測定、栄養士からカロリーの説明もありました。会員さん同士はもちろん、スタッフと患者さんの距離も縮まり楽しい交流の会となりました。

これからも、糖尿病を抱えた患者さんが、より楽しく、より自分らしくいきいきと生活するための交流の場となるべく、活動を続けていきます！



榎田医師による「糖尿病による合併症」についての学習会の様子



職員紹介

～エキスパートではなく、社会が求める真のプロフェッショナルを目指して～



《経歴》

2002年 福岡大学薬学部 卒業
鹿児島生協病院 入職
2007年 川辺生協病院 赴任
2010年 国分生協病院 赴任

《認定》

日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師

日本病院薬剤師会認定指導薬剤師

日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師

《所属学会》

日本医療薬学会

日本化学療法学会

《学会発表等》

日本医療薬学会年会、医療薬学フォーラム、全日本民医連学術・運動交流集会、全国腎疾患管理懇話会、九州山口薬学大会、南日本薬剤センター薬局研究発表会 など

薬剤部 主任 中村 伸也 (なかむら しんや)



《資格に関して》

私は認定取得についてセルフマネジメントのひとつであり、自己成長につなげる通過点だと考えています。医療専門職は職能の自律に支えられた生涯にわたる自己研鑽が必要です。専門性を追求することも大切ですが、薬剤師の資質の基本はジェネラリストであり、すべての処方箋について、調剤およびその患者の薬学的管理を行うことのできる能力を持ち、患者や他職種と十分にコミュニケーションをとりながら、日常業務に取り組むことを心がけています。

《今後の抱負》

現在、私は部門責任者の立場であり、スタッフと協力しチームで仕事をしていく大切さを日々感じ人材育成に力を入れています。組織として発展していくためには個々のスタッフが主体的に活動していく必要があります。そのため、日常業務を研修の場と捉え、日常の体験と丁寧に向き合って自分自身とつなげて考え、学びを共有できる風土を作り、継承していくことを目標としています。

霧島市国保税引き下げ継続は、私達の署名の力！

2007年度から、霧島市社保協を中心に取り組んでいる国保税の引き下げ陳情署名は、2010年度によりやく議会で可決され、3年間の引き下げが実現しました。その後も毎年のように、引き下げ幅の拡大等の署名活動や市長や議員との懇談等をすすめています。2013年度からは、毎年、引き下げ継続の署名に取り組み、引き下げを実現してきました。今年も、市内の医療機関や介護施設にも協力をいただき、12月議会に陳情署名を提出しました。

国保は、2018年度から管轄が県に移行の予定となっており、私たちの声が届きにくくなろうとしています。これまで以上に学習や署名の輪をひろげていくことが必要となってきています。

国分生協病院 1月

外来診療体制表

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | |
|----|--------------------|----------------------|---------------------|----|------------------------------|------------------------|---|--|
| 午前 | 内科 8:45~12:00 | 松本 | 小坂元 | 山下 | 櫻田祐一 | 林 | 交替 | |
| | | 吉見 | 柴田 | 吉見 | 吉見 | 松本 | 吉見(第4週) | |
| | | 山下 | 上村 | 隈元 | 上村 | 櫻田久枝 | 山下(第2・4週) 松本(第3・5週) | |
| | | | 櫻田祐一 | 松本 | 小坂元 | 上村(第3・5週) | 中田 (第2・3・4・5週) | |
| | | | | 田澤 | 東 | | | |
| | | | 櫻田久枝 | | | | | |
| | 外科 9:30~12:00 | 鈴東 | | 税所 | | 税所 | | |
| | 小児科 10:00~12:00 | 森田 | 嶽崎 | 森田 | 森田(第1・2・3週) 交替(第4週) | 徳永(第2・4週) 玉江(第3・5週) | 交替 2週目1/9のみ休診 | |
| 午後 | 内科 15:00~17:00 | 交替 | 櫻田祐一 | | 交替 | 林 | | |
| | | 17:00~18:30 | 交替 | 交替 | | 松本 | 交替 | |
| | | 予約のみ 15:00~17:00 | | 中田 | | 東(神経内科) 中田 | 山下 | |
| | 小児科 14:00~16:00 | 予約のみ 予防接種 乳児健診 | 森田 ※予防接種のみ(健診なし) | 交替 | 特診(1/27のみ) 酒井 ※その他の週休診 | | (14:00~16:00) 予約のみ 腎特診(3)玉江 心特診(2・4)徳永 | |
| | | 予約のみ 16:00~18:30 | | | | 森田 予約のみ (1/28は休診) | | |

※学会出張等の都合により変更になる場合があります。詳しくはお電話にてご確認ください。
 ※12月30日~1月3日は、年末年始の為休診となります。ご了承下さい。

国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目22-18
 電話(0995)45-4806 FAX(0995)45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp>